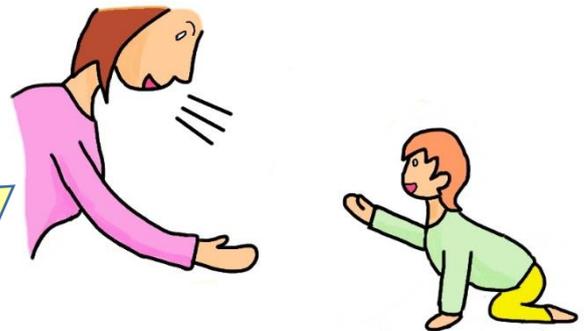




毎日暑い日が続きます。アイキッズルームは夏休み期間中なので、普段通っているお子さんたちは、ご家庭でのびのびと過ごしていることと思います。

さて、一般に乳児は自分の興味のある様々なものに手を伸ばして探索することで、体の機能を高めたり、世界の広がりを経験したりしながら成長していきます。見えにくさがあるお子さんにとっても、「あの音はなんだろう?」「音のする方向へ手を伸ばしてみたい、行ってみたい。」と思えるような経験がたくさんあるといいですね。特に、大好きなお母さんやお父さんの声は、もっとも身近で子どもにとって魅力のあることの1つです。そこで、「〇〇ちゃん、こっちだよ。おいで!おいで!」とちょっと離れたところから声をかけて、音のする方向を頼りに体を動かしたり、ハイハイしたりして近づいてくる、そして、たどり着いてぎゅっと抱きしめられてほめられるなど、お子さんにとっ

お子さんの気持ちに寄り添いながら、最初は手が届くくらいの距離からはじめ、少しずつ手を少し伸ばしたら届くくらい、そして、一歩進むと「あっ!ママ(パパ)がいた」と分かるくらいの距離など一歩ずつ、声を頼りにおいで!おいで!



また、おもちゃの工夫としては、音や光で反応するもの、ふわふわしたり動いたり、手で触って楽しめるものなども、見えにくさのある子どもにとっては魅力的なものになります。本校のアイキッズルームには、さまざまなおもちゃや活動を用意しており、お子さんがどんなものに興味があるのか確認しています。私たち相談担当者だけでなく、保護者さんの中にも「うちの子、こういうおもちゃが好きだったんだ!」と新たな発見をして、みんなでびっくりすることもあります。

本校の乳幼児教育相談では、相談担当2名がお子さんの目の見え方に心配のある保護者さんの相談に応じています。0歳から年長さんまでのお子さんが通っていますので、部屋はお子さんの好みや発達に合わせて、オーダーメイドで設定しています。また、保育所や幼稚園に在籍されているお子さんもあり、必要に応じて在籍する園等を担当者が訪問させていただき、お子さんに合わせた過ごし方を園の先生方に提案させていただくこともあります。

神奈川県立平塚盲学校 乳幼児教育相談

**アイキッズルーム**

月~金 10:00~12:00、14:00~16:00

**0463-31-1341**

“乳幼児教育相談の申し込み”と電話でお伝えください。

担当(下原・小川)が対応いたします。

